

# 無料低額宿泊所から逃げ出した…

# 年の瀬に雇用破壊

## 千葉県 2カ所 派遣村に相談 生保申請

雇用や生活などさまざまな相談にのる「ちば派遣村」が24日、千葉、柏両市で行われました。街にクリスマス飾りがあふれるなか、はだしにサンダル履きの年配女性、幼い娘を連れた男性などが絶え間なく相談者が訪れ、路上生活や貧困ビジネスにかかわる相談が増えるなど雇用破壊の深刻化が際立ちました。

柏市の相談にきた車い

すの男性(37)は、東京都内の無料低額宿泊所から逃げてきたといいます。

区の紹介で入所したが保護費約13万円から家賃などが引かれ手元に残るのは5千円〜1万円。「夜はファミレスで過ごして約10日、横になって眠りたい。また同じような施設に入るのは嫌です。こんな生活なら死んだほうがまし」と青白い顔で語

りました。

柏市では朝6時から炊き出しを実施。失業してネットカフェを転々とす

る31歳の息子と60歳の父親、家と職を失い4カ月間車で暮らす60歳代男性、派遣で働く娘からお金をもらいネットカフェで生活する女性などが訪れ昼までに3人が生活保護を申請しました。

千葉県では東金市の建設会社の寮で暮らす男性

(76)が寮費を引かれて月2万円しかもらえないと相談。佐倉市の男性(45)は都内の地質調査会社に住み込みで就職したが生活費を引かれた上途中退職を理由に減給され、1日9千円の賃金が3日で1500円だったと相談を寄せました。

千葉市の派遣村では計8人が生活保護申請となりました。貸金業者から10万円借金し1年半で260万円返したという過払い相談など貧困ビジネスの横行が目立ちました。東葛地域では派遣村実行委の事前要請を受け3市が広報で派遣村を告知。日本共産党の田村智子、

09/12/25付「しんぶん赤旗」から記事のみ転載

さいとう和子両参院候補が参加しました。